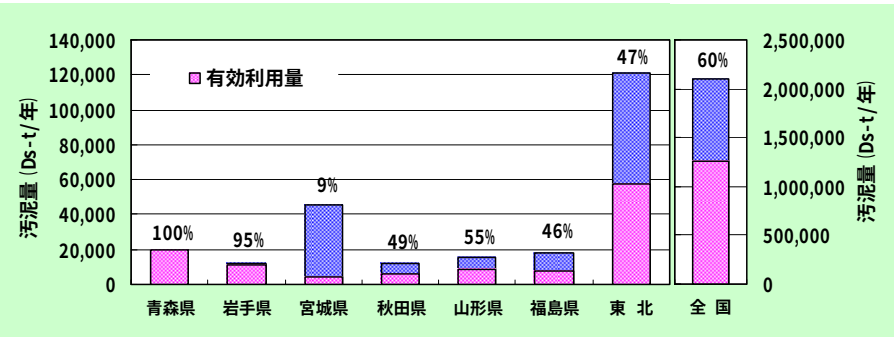
下水汚泥発生量は年々増加しているが、大部分は埋立処分され、下水汚泥リサイクル率は平成１４年度実績で、４７％（東北全体を１００％とした場合、緑農地利用４４％、建設資材利用５６％）と低い状況にあります。東北各県でみると、青森県が最もリサイクル率が高く１００％、次いで岩手県の９５％の順であり、宮城県が最も低い状況にあります。

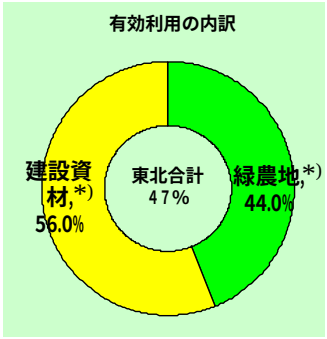
汚泥の有効利用状況（平成１４年度実績）

（単位：DS-t/年）

県名	埋立処分 ①	緑農地 ②	建設資材 ③	その他 ④
青森県	0	7,934	11,442	0
岩手県	537	1,529	9,829	0
宮城県	41,000	4,224	0	0
秋田県	5,900	382	5,345	61
山形県	6,888	8,427	54	0
福島県	9,482	2,720	5,413	0
東　北	63,807	25,215	32,083	61
全　国	810,663	292,605	970,013	25,845

県名	汚泥総量 ⑤=①+②+③+④	有効利用量 ⑥=②+③	有効利用率 ⑦=⑥/⑤×100
青森県	19,376	19,376	100%
岩手県	11,895	11,358	95%
宮城県	45,224	4,224	9%
秋田県	11,688	5,727	49%
山形県	15,369	8,481	55%
福島県	17,614	8,132	46%
東　北	121,166	57,298	47%
全　国	2,099,127	1,262,619	60%





*) 東北全体を１００%とした場合の割合

汚泥の有効利用状況（平成１４年度実績）